

第 2 ワーキンググループ（第 1 回）

総務省提出資料

（ワークライフバランスの関係統計整備に関する補足資料）

諮問第 39 号の答申及び諮問第 40 号の答申（抜粋）

●労働力調査

（ウ）少子高齢化の進展やワーク・ライフ・バランスへの対応

総務省は、少子高齢化の進展等への対応の観点から、表 5 のとおり、特定調査票の「就業希望者の非求職理由」を把握する調査事項の選択肢のうち、従来「家事・育児のため」としていたものを、新たに「出産・育児のため」と「看護・介護のため」に分割することを計画している。

これについては、近年、高齢化の進展に伴い、介護の就業抑制要因としてのウェイトが大きくなってきていると考えられることを踏まえ、就業と介護との関係やワーク・ライフ・バランスの進展に関する分析を可能とするものであり、適当である。

表 5 就業希望者の非求職理由に係る調査事項の変更内容（特定調査票）

現行	変更後
(選択肢) <input type="radio"/> 適当な仕事がありそうにない ・ 近くに仕事がありそうにない ・ 自分の知識・能力にあう仕事がありそうにない ・ 勤務時間・賃金などが希望にあう仕事がありそうにない ・ 今の景気や季節では仕事がありそうにない ・ その他 <input checked="" type="radio"/> 家事・育児のため仕事が続けられそうにない <input type="radio"/> 健康上の理由のため <input type="radio"/> その他	(選択肢) <input type="radio"/> 適当な仕事がありそうにない ・ 近くに仕事がありそうにない ・ 自分の知識・能力にあう仕事がありそうにない ・ 勤務時間・賃金などが希望にあう仕事がありそうにない ・ 今の景気や季節では仕事がありそうにない ・ その他 <input checked="" type="radio"/> 出産・育児のため <input checked="" type="radio"/> 看護・介護のため <input type="radio"/> 健康上の理由のため <input type="radio"/> その他

●平成 24 年就業構造基本調査

b 非求職等と出産との関係の把握等

就業抑制要因のより詳細な把握の観点から、「非求職理由」、「非就業希望」及び「前職の離職理由」を把握する調査事項の選択肢について、従来「その他」等に含められていたとみられる出産を育児の一環として把握できるよう、新たに「育児のため」を「出産・育児のため」と変更することとしている。

また、「前職の離職理由」の選択肢について、簡素化の観点から、類似していると考えられる従来の「収入が少なかった」及び「労働条件が悪かった」を新たに「労働条件が悪かった（収入が少なかったなど）」の形で統合することとしている。

このうち、前者については、それぞれの調査事項により、非求職、非就業及び前職の離職と出産との関係を把握することにより、ワーク・ライフ・バランスの進展に関する分析を可能とするものであり、適当である。

一方、後者については、労働条件には職場環境など収入以外のものが考えられること、過去の調査結果から「労働条件が悪かった」及び「収入が少なかった」のそれぞれに一定の回答率が見込まれることから従前どおり別々の選択肢

にすることが適当である（表2及び表注参照）。

表2 就業時間の増減希望等に係る調査事項の変更内容

調査事項	現行	変更内容
非求職理由	<p>〈無業者に関する調査事項〉 (選択肢)</p> <p>○探したが見つからなかった ○希望する仕事がありそうにない ○知識・能力に自信がない ○病気・けがのため ○高齢のため</p> <p>○育児や通学などのため仕事が続けられそうにない</p> <p>○家族の介護・看護のため ○急いで仕事につく必要がない ○学校以外で進学や資格取得などの勉強をしている ○その他</p>	<p>〈無業者に関する調査事項〉 (選択肢)</p> <p>○探したが見つからなかった ○希望する仕事がありそうにない ○知識・能力に自信がない ○病気・けがのため ○高齢のため</p> <p>○通学のため ○出産・育児のため</p> <p>○家族の介護・看護のため ○急いで仕事につく必要がない ○学校以外で進学や資格取得などの勉強をしている ○その他</p>
非就業理由	<p>〈無業者に関する調査事項〉 (選択肢)</p> <p>○育児のため</p> <p>○家族の介護・看護のため</p> <p>○家事（育児・介護・看護以外）のため</p> <p>○通学のため ○病気・けがのため ○高齢のため ○学校以外で進学や資格取得などの勉強をしている ○ボランティア活動に従事している ○仕事をする自信がない ○その他 ○特に理由はない</p>	<p>〈無業者に関する調査事項〉 (選択肢)</p> <p>○出産・育児のため</p> <p>○家族の介護・看護のため</p> <p>○家事（出産・育児・介護・看護以外）のため</p> <p>○通学のため ○病気・けがのため ○高齢のため ○学校以外で進学や資格取得などの勉強をしている ○ボランティア活動に従事している ○仕事をする自信がない ○その他 ○特に理由はない</p>
前職の離職理由	<p>〈前職に関する調査事項〉 (選択肢)</p> <p>○人員整理・勸奨退職のため ○会社倒産・事業所閉鎖のため ○事業不振や先行き不安 ○一時的についた仕事だから</p> <p>○収入が少なかった ○労働条件が悪かった</p> <p>○自分に向かない仕事だった ○家族の転職・転勤又は事業所の移転のため ○定年のため ○雇用契約の満了のため ○病気・高齢のため ○結婚のため</p> <p>○育児のため</p> <p>○家族の介護・看護のため ○その他</p>	<p>〈前職に関する調査事項〉 (選択肢)</p> <p>○人員整理・勸奨退職のため ○会社倒産・事業所閉鎖のため ○事業不振や先行き不安 ○一時的についた仕事だから</p> <p>○労働条件が悪かったため（収入が少なかったなど）</p> <p>○自分に向かない仕事だった ○家族の転職・転勤又は事業所の移転のため ○定年のため ○雇用契約の満了のため ○病気・高齢のため ○結婚のため</p> <p>○出産・育児のため</p> <p>○家族の介護・看護のため ○その他</p>

(注) 1 ゴシック体・太字部分が変更箇所である（以下同じ）。

2 下線を付した部分は、修正が必要な箇所を示す。

○ 育児・介護の状況の詳細な把握

就業と育児・介護との関係を詳細に捉える観点から、新たに育児関連として「ふだんの育児の状況」及び「この1年間の育児休業制度等の利用状況」を、また、介護関連として「ふだんの介護の状況」及び「この1年間の介護休業制度等の利用状況」を把握する調査事項を追加することについては、就業と育児休業や介護休業の取得状況との関係を把握することにより、ワーク・ライフ・バランスの進展に関する分析を可能とするものであり、適当である(表3参照)。

表3 育児・介護の状況に係る新設調査事項の内容

設問	内容
<p>○ふだん育児をしていますか</p> <p>○この1年間に育児休業などの制度を利用しましたか</p> <p>○ふだん家族の介護をしていますか</p> <p>○この1年間に介護休業などの制度を利用しましたか</p>	<p><全員記入の調査事項> (選択肢)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・育児をしている ・育児をしていない ・した <ul style="list-style-type: none"> 育児休業 短時間勤務 子の看護休暇 その他 ・しなかった ・介護をしている ・介護をしていない ・した <ul style="list-style-type: none"> 介護休業 短時間勤務 介護休暇 その他 ・しなかった <p>(「育児をしている」を選択した者が回答)</p> <p>(「介護をしている」を選択した者が回答)</p>